

神戸市会だより

2021年
令和3年
8月
No.210

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

神戸市会 | 検索

広報紙KOBEより抜き出してお読みください。

6月議会がスタートし、 市会の新体制が決定

令和3年第1回定例会市会6月議会が、6月11日から6月28日まで開かれました。この議会では市会の新体制を決定するとともに、議案などの審議を行い、市政全般に対する一般質問を行いました。(市長提出19件、議員提出3件、合計22件)

6月11日の本会議では、正副議長の選挙が行われ、議長に坊やすなが議員(自由民主党)を、副議長に沖久正留議員(公明党)を選びました。また、24日の本会議で6つの常任委員会と3つの特別委員会の委員を選任し、市会の新体制を決定しました。(4面参照)



議長
坊やすなが



副議長
沖久正留

ごあいさつ

このたび、神戸市会議長、副議長に就任いたしました。

神戸市は阪神・淡路大震災以降、復興や財政再建に取り組み、近年は、都心部やウォーターフロントの再開発など、将来を見据えた街づくりを進めてきました。そのような折、新型コロナウイルス感染症の出現により、世界中の風景が一変しました。しかし、コロナの出現前にあった課題は依然として存在しており、少子高齢化・人口減少の進展、地方創生など、ウイズコロナ時代、その先のポストコロナ時代の到来を見据えながら、様々な施策を考えていく必要があります。

私ども議会といたしましても、二元代表制における議会の使命を十分に発揮し、地方自治を支える議会・当局がそれぞれの役割を果たしながら、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、神戸市民のくらしの安心・安全を守るとともに、神戸がさらに魅力的なまちとなるよう積極的に取り組んでまいります。

議決した主な議案

令和3年度6月補正予算の概要

(主な内容)

- ワクチン接種体制の拡充・医療提供体制の安定的確保
 - ・ワクチン接種体制の拡充
 - ・検査体制の拡充・医療提供体制の安定的確保
 - ・入院調整中患者・自宅療養者への支援
- コロナ禍に直面する市民・市内事業者への対応
 - ・生活困窮者対策
 - ・文化芸術・市民活動支援
 - ・市内事業者支援

意見書の提出

次の意見書を可決し国に提出しました。

- 子供たちの豊かな教育環境をつくるための教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

議員提出議案

- 神戸らしいファッション文化を振興する条例
市、事業者および市民が共に、神戸らしいファッション文化を振興することにより、これを次世代に引き継いでいくための条例を制定しました。
- 神戸市会委員会条例の一部を改正する条例
感染症のまん延防止措置、または大規模な災害の発生などにより委員会を招集する場所への招集が困難と判断される実情がある場合において、オンラインを活用した委員会を開会することに関し必要な事項を定めるため、条例を改正しました。

副市長人事

副市長の恩田馨氏の辞任に伴い、後任に行財政局長の小原一徳氏を起用する人事案件に同意しました。

令和3年 第1回定例会市会 【6月議会】の動き

- 6月11日 本会議
 - 開会
 - 議員提出議案の提案・採決
 - 正副議長選挙
- 6月17日 本会議
 - 条例改正などの議案の提案・質疑
- 6月18日・21日 常任委員会
 - 条例改正などの議案及び陳情の審査
- 6月24日 本会議
 - 条例改正などの議案の討論・採決
 - 補正予算などの議案の採決
 - 議員提出議案の提案・採決
 - 常任委員会・特別委員会・市会運営委員会の各委員選任 [4面でご紹介](#)
 - 人事案件の提案・採決 など
- 6月25日・28日 本会議
 - 一般質問
 - 閉会

次期市会は、第2回定例会市会【9月議会】の予定です。

会派構成

自由民主党(19人)

団 長 安達 和彦
幹事長 平井 真千子

公明党(12人)

団 長 吉田 謙治
幹事長 壬生 潤

日本維新の会(10人)

団 長 外海 開三
幹事長 住本 かずのり

日本共産党(9人)

団 長 森本 真
幹事長 大かわら 鈴子

立憲民主党(6人)

団 長 池田 りんたろう
幹事長 よこはた 和幸

つなぐ(5人)

団 長 香川 真二
幹事長 あわはら 富夫

国民民主党・友愛(2人)

団 長 大井 としひろ
幹事長 川内 清尚

共創・国民民主(2人)

団 長 前島 浩一
幹事長 諫山 大介

無所属(4人)

本会議での一般質問から

6月25日・28日の本会議では一般質問が行われました。その主な内容をご紹介します。

(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→)

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

6月25日

6月28日



📖 コロナ関連

神戸市健康科学研究所の機能強化

— 6月25日の一般質問から —

やました 山下 てんせい議員(自由民主党、西区)



Q 健康科学研究所は新型コロナのゲノム解析のスピードが早く、そのデータは他都市からも頼りにされていると感じている。日本全体の感染症拡大防止に貢献するという観点から、市独自に感染症や疾病に関する解析能力を伸ばし、研究所の機能強化に取り組むべきと考えるがどうか。

A 国や地方衛生研究所との連携のもと、変異株の予兆をとらえることができる強固な研究体制を構築するなど、科学的知識・技術により市民の健康に寄与してまいりたい。また、研究所の機器の充実を図るとともに、研究の進展や海外での論文発表を見据えた支援をしっかりと行っていきたい。

神戸港における検疫の強化

— 6月28日の一般質問から —

たかはし 高橋 としえ議員(日本維新の会、西区)



Q 令和3年1月、神戸に入港予定の貨物船乗組員のコロナ感染が発生し、検疫所が用意した療養施設に隔離され、水際対策の重要性が再認識された。検疫の所管は厚生労働省だが、神戸市も参画する神戸港健康危機管理対策委員会における連携により港の検疫をさらに強化すべきと考えるがどうか。

A 同委員会は、神戸検疫所、大阪出入国在留管理局など国の機関や本市関係機関で構成され、年1回実地訓練や情報伝達訓練を実施し24時間連絡可能な体制を構築している。今後も同委員会の関係機関と緊密に連携し、水際対策を強化することで神戸港の安全安心の確保に努めたい。

🏛️ 行財政・経済

市長4年間の総括

— 6月25日の一般質問から —

あだち かずひこ 安達 和彦議員(自由民主党、須磨区)



Q 「神戸2025ビジョン」を令和3年4月に策定したが、市長としてこの4年を振り返り、どのように総括しているのか。

A 人口減少対策を大きな課題と捉えて取り組むとともに、市役所の組織が全力で取り組める体制を構築するため、市役所改革を進めてきた。その中で発生した新型コロナウイルス対策に全力で取り組んできた一方、神戸の都市としての成長を止めてはならず、各地域のバランスの取れたまちづくりを進めてきた。今後も、新型コロナウイルスへの対応を最優先に行いながら、ポストコロナを見据えた「グローバル貢献都市」の実現に全力で取り組む。

神戸らしいファッション文化を振興する条例

— 6月25日の一般質問から —

ひらい まちこ 平井 真千子議員(自由民主党、長田区)



Q コロナ禍で多くの産業が打撃を受ける中、少しでも地場産業の助けになりたいということも含めて発案した「神戸らしいファッション文化を振興する条例」が施行された。まずは市民に本条例の制定について知ってもらうためのキャンペーンが必要ではないか。

A 市民への情報発信は重要と考えており、神戸ファッション美術館での展示や本物を体感できる機会の提供、若い世代に向けての情報発信、神戸のファッション文化の認知と活用を促すポスターの製作などを検討している。また、地場産品を販売する場所を運営方法や設置形態も含めて検討し、消費喚起にも努めたい。

外郭団体の見直し

— 6月28日の一般質問から —

つじ やすひろ 辻 康裕議員(日本維新の会、東灘区)



Q 民間事業者との代替性や団体間の類似性などを踏まえ、統廃合やプロの民間人材を登用するなど思い切った経営改革を進める必要があると考える。団体の状況により必要な措置は異なるが、今後見直しをどのように進めていくのか。

A 外郭団体の抜本的な見直しを実施するため、令和3年8月に見直し方針を策定、公表すると同時に、外郭団体マネジメント推進本部を立ち上げ、個別の団体の見直しについても、スピード感を持って進める。また、外郭団体のトップも含めた人事のあり方についても団体の自主性も尊重しながら、適切に関与していく。

🏠 まち・暮らし

道路行政の推進

— 6月25日の一般質問から —

こうたろう しらくに 高太郎議員(自由民主党、垂水区)



Q 垂水区小束山6丁目交差点付近では開発が継続的に行われているが、それを支えるための道路が足りていない。国などの関係者と検討を行い、エリア全体で総合的な渋滞対策を推進するとともに、現道の拡幅など南北軸の道路ネットワークの強化が必要ではないか。

A 当該交差点の改良に取り組んできたが、いまだ渋滞があることは認識している。今後、国、兵庫県警などの関係者と問題意識を共有し、渋滞原因を把握したうえで総合的な対策を検討していきたい。また、将来の交通需要を推計し、南北軸強化の必要性も含め、道路ネットワークのあり方を検討していきたい。

クリーンステーションの鳥獣被害対策

— 6月25日の一般質問から —

どうした とよじ 堂下 豊史議員(公明党、北区)



Q クリーンステーションの鳥獣被害対策としてカラス対策ネットを配布しているが、カラスやイノシシに荒らされてしまうという声を聞く。他都市での事例も参考にしながら被害実態に応じ、補助制度の創設など、より踏み込んだ鳥獣対策を講じるべきではないか。

A カラス対策ネットについては素材などの見直しおよび効果の検証を行い、耐久性を含めて、より効果の高い資機材への改善を行っていく。他都市の状況も勉強し、新たな支援策も検討したい。地域の個別状況を踏まえながら、クリーンステーションの鳥獣被害防止対策を地域と一緒に進めていきたい。



有馬街道の渋滞対策

— 6月25日の一般質問から —

どうした とよじ
堂下 豊史 議員(公明党、北区)



- Q 有馬街道の平野交差点と水呑交差点について、渋滞対策が行われてきたが、時間帯によっては解消されておらず、また豪雨時には通行止めとなり幹線道路の機能を果たしていない。防災の観点からも抜本的な対策を講じるべきではないか。
- A 令和3年度より道路管理者や兵庫県警などで構成される「兵庫地区渋滞対策協議会」にて、交通流動分析や現地検討会などの調査を実施し、平野交差点の交差点改良などのハード整備と、既存道路ネットワークの有効活用などのソフト施策の両面から検討する。また、渋滞対策に加え、防災事業の必要性についても検討を進めたい。

JR神戸駅前広場の再整備

— 6月28日の一般質問から —

かろうち きよなお
川内 清尚 議員(国民民主党・友愛、垂水区)



- Q 先日、JR神戸駅前広場の再整備基本計画の素案が発表された。駅の東側にある蒸気機関車D51の移設は重量の問題などで困難とのことだが、駅舎が開業100年を迎える令和12年ごろに予定される駅前広場の全面リニューアルにあわせて小型のD51を設置すれば、写真撮影や待ち合わせスポットとして賑わうと考えるが、見解を伺いたい。
- A 基本計画を策定し具体化していく中で、駅前の魅力をさらに高めるシンボリックな仕掛けや、人が集うスポットの整備が重要である。駅前広場のしつらえを設計する中で、小型のモニュメント設置の必要性も含めて検討してまいりたい。

教育・子ども

子ども施策における障害児支援

— 6月25日の一般質問から —

やまくち ゆみ
山口 由美 議員(自由民主党、西区)



- Q 表面化した児童虐待やいじめ、不登校、ひきこもりなどの深刻な問題の陰に子どもの発達上の課題があるケースは少なくない。保護者を助けるだけでなく、子どもの発達を保障するために、医療・保健・福祉・教育の連携を前提とした障害児支援体制の構築を目指すべきではないか。
- A 障害児支援体制の強化のため、医療・保健・福祉・教育の分野での連携、また民間の方々ともしっかりと連携していかなければならない。現場と本庁で情報共有し、市長・副市長が入った関係局長会議を開き、全庁的な視点で改善に向けて取り組んでいきたい。

中学校全員喫食に向けて

— 6月25日の一般質問から —

とくやま としこ
徳山 敏子 議員(公明党、北区)



- Q 中学校給食の全員喫食制の実現に向けて、給食時間の延長や調理体制の確保について検討状況を伺いたい。また、防災・福祉的な観点も踏まえて給食センターの整備を検討すべきではないか。
- A 給食時間の延長は、学校生活への影響も考慮し、他都市の状況も参考に検討したい。全員喫食制の実施方式については、費用対効果や効率性などの観点から、一つの方式にこだわらず複数方式を組み合わせることも含め検討している。給食センターは有力な候補の一つであり、採用する場合は立地場所に応じた多様な活用もあわせて検討していくべきものと考えている。

人工呼吸器の必要な就学児童の保護者の付き添い

— 6月28日の一般質問から —

かがわ しんじ
香川 真二 議員(つなぐ、西区)



- Q このたび支援に関する法律が可決され、全国的に医療的ケア児の支援のあり方が注目される中、ケアする保護者や家族の健康を維持するためにも、特別支援学校への付き添いに改善を求める声が上がっている。保護者の切実な声に対し、神戸市での取り組みについて見解を伺いたい。
- A 人工呼吸器の管理が必要な児童生徒29名のうち、7名は訪問教育、10名は保護者と協議し付き添いなしで登校、12名は一人ひとりの状況に応じて付き添いなく登校できるよう段階的に検討している。今後も保護者とよく話し合いながら、保護者負担の軽減に努めていきたい。

健康・福祉

保健所の体制強化

— 6月28日の一般質問から —

まつもと こ
松本のり子 議員(日本共産党、東灘区)



- Q コロナ禍で保健師は増員となったが、一過性の体制強化で終わらせず、感染症対策に加え地域の疾病予防と健康の維持増進、母子保健などの通常業務ができるように体制を維持・増加するべきである。また、各保健センターに医師を配置できるよう増員し体制を強化すべきと考えるがどうか。
- A 保健所の業務が非常に厳しいことから、保健師の増員を行い、さらに4年度採用でも増員を行う予定である。一過性ではなく今後のパンデミックへの備えとともに、通常業務もしっかり行えるよう体制を強化していきたい。また、医師についても、引き続き確保に努めてまいりたい。

地域医療体制の維持・強化

— 6月28日の一般質問から —

あさくら こ
朝倉 えつ子 議員(日本共産党、北区)



- Q 済生会兵庫県病院と三田市民病院の再編統合も視野に入れた検討委員会が行われており、地域住民の間には身近な病院がなくなることへの懸念の声が広がっている。市として市民の願いを受け止め、今のまま、今の場所で済生会病院が存続できるよう取り組むべきと考えるがどうか。
- A 済生会兵庫県病院より、単独で将来的に地域の基幹病院として急性期医療を維持継続することは困難との報告があった。この報告を踏まえ、再編統合も視野に入れ、北神地域の急性期医療を将来にわたって維持・充実させるための方策を検討委員会において検討してまいりたい。

子ども・若者ケアラー

— 6月28日の一般質問から —

つよし
たなびき 剛 議員(立憲民主党、垂水区)



- Q 令和3年6月に子ども・若者ケアラーの相談窓口が設置されたが、ケアラーへの認知度は依然低い。実態の周知を徹底するとともに学校現場で児童生徒が自分の置かれた立場を見つめ直す機会を設けるよう働きかけるべきと考えるがどうか。
- A 子ども・若者ケアラーへの周囲の理解が深まることが大切だと考えており、関係者への研修のほか支援マニュアルを作成・公開している。窓口の周知は広報紙やLINE広告を活用し、Web広告も予定している。学校現場では、市立高校生全員にチラシを配布しており、小中学生には教育委員会と連携し発達段階に合わせた対応を検討したい。

インフラとしての銭湯に対する支援および活性化

— 6月28日の一般質問から —

いさやま だいすけ
諫山 大介 議員(共創・国民民主、灘区)



- Q 銭湯は公衆衛生の場と同時に、地域の高齢者や家族の交流の場としての役割があり、改めて注目すべき場と考えている。神戸市でも銭湯活性化に向けてスタンプラリーイベント「オフンロ巡り」や「神戸・銭湯フォーカスプロジェクト」などさまざまな事業を展開しているが、今後の支援・活性化策について伺いたい。
- A これまで実施したさまざまな支援策に加え、大きな課題となっている事業承継について新たな観点からの支援が必要だと考えている。多くの銭湯が今後も存続して社会的な役割を果たせるよう、できるだけ早く具体的な支援策を構築し対応していきたい。

新しく決まった各委員会の委員 ()は定数

常任委員会 【議員を6つのグループに分け、市の事業を分野ごとに審査する委員会】 ◎委員長 ○副委員長 議員名(会派届出名の略称、選挙区)

総務財政委員会(11人) 市の広報、国際、基本計画、財政、選挙、監査などに関すること

◎河南 ただかず 自由民主党 中央区	○外海 開三 日本維新の会 東灘区	香川 真二 つなぐ 西区	ながさわ 淳一 日本維新の会 長田区	味口 としゆき 日本共産党 灘区	五島 大亮 自由民主党 北区
沖久 正留 公明党 中央区	池田 りんたろう 立憲民主党 北区	守屋 隆司 自由民主党 兵庫区	安達 和彦 自由民主党 須磨区	吉田 謙治 公明党 西区	

建設防災委員会(11人) 公園、道路、上下水道、危機管理、消防などに関すること

◎岡田 ゆうじ 自由民主党 垂水区	○今井 まさこ 日本共産党 垂水区	村上 立真 無所属 兵庫区	さとう まちこ 日本維新の会 垂水区	大野 陽平 自由民主党 東灘区	徳山 敏子 公明党 北区
高橋 としえ 日本維新の会 西区	よこはた 和幸 立憲民主党 中央区	菅野 吉記 公明党 兵庫区	松本 のり子 日本共産党 東灘区	坊 やすなが 自由民主党 北区	

教育子ども委員会(12人) 教育、子育て、学校、保育所などに関すること

◎吉田 健吾 自由民主党 灘区	○門田 まゆみ 公明党 須磨区	朝倉 えつ子 日本共産党 北区	林 まさひと 日本共産党 西区	三木 しんじろう 日本維新の会 中央区	たなびき 剛 立憲民主党 垂水区
小林 るみ子 つなぐ 灘区	山下 てんせい 自由民主党 西区	山口 由美 自由民主党 西区	平野 章三 無所属 垂水区	川内 清尚 国民民主党・友愛 垂水区	大澤 和士 公明党 垂水区

経済港湾委員会(12人) 観光、商工業、農漁業、港、空港、文化、スポーツなどに関すること

◎西 ただす 日本共産党 東灘区	○平野 達司 自由民主党 兵庫区	やの こうじ 立憲民主党 東灘区	上原 みなみ 無所属 北区	山本 のりかず 日本維新の会 北区	山本 じゅんじ 日本共産党 須磨区
平井 真千子 自由民主党 長田区	堂下 豊史 公明党 北区	藤本 浩二 公明党 西区	あわはら 富夫 つなぐ 中央区	松本 しゅうじ 無所属 須磨区	安井 俊彦 自由民主党 東灘区

福祉環境委員会(12人) 高齢者、障害者、地域医療、保健所、環境などに関すること

◎軒原 順子 公明党 長田区	○上島 寛弘 自由民主党 東灘区	高橋 ひでのり つなぐ 垂水区	川口 まさる 日本維新の会 灘区	かじ 幸夫 立憲民主党 西区	諫山 大介 共創・国民民主 灘区
住本 かずのり 日本維新の会 須磨区	しらくに 高太郎 自由民主党 垂水区	坊池 正 自由民主党 西区	森本 真 日本共産党 長田区	大井 としひろ 国民民主党・友愛 須磨区	北川 道夫 公明党 東灘区

都市交通委員会(11人) 都市計画、市営住宅、市バス、地下鉄などに関すること

◎黒田 武志 日本維新の会 西区	○岡村 正之 自由民主党 中央区	辻 康裕 日本維新の会 東灘区	伊藤 めぐみ 立憲民主党 北区	植中 雅子 自由民主党 北区	大かわら 鈴子 日本共産党 兵庫区
高瀬 勝也 公明党 灘区	前島 浩一 共創・国民民主 西区	浦上 忠文 つなぐ 東灘区	村野 誠一 自由民主党 須磨区	壬生 潤 公明党 垂水区	

特別委員会 特定の事柄を審査するため、必要の都度設置される委員会

◎委員長 ○副委員長 △理事

外郭団体に関する特別委員会(15人)

- ◎徳山 敏子
- 住本 かずのり
- △上島 寛弘
- △堂下 豊史
- △林 まさひと
- △たなびき 剛
- △高橋 ひでのり
- 川口 まさる
- 大野 陽平
- 平野 達司
- 山下 てんせい
- 藤本 浩二
- 前島 浩一
- 松本 のり子
- 川内 清尚

大都市行財政制度に関する特別委員会(15人)

- ◎外海 開三
- しらくに 高太郎
- △門田 まゆみ
- △黒田 武志
- △今井 まさこ
- △かじ 幸夫
- △香川 真二
- 岡村 正之
- 植中 雅子
- よこはた 和幸
- 菅野 吉記
- 森本 真
- 守屋 隆司
- 壬生 潤

未来都市創造に関する特別委員会(15人)

- ◎五島 大亮
- 高瀬 勝也
- △河南 ただかず
- △三木 しんじろう
- △味口 としゆき
- △やの こうじ
- △あわはら 富夫
- さとう まちこ
- 山本 のりかず
- 吉田 健吾
- 岡田 ゆうじ
- 西 ただす
- 軒原 順子
- 大井 としひろ
- 吉田 謙治

市会運営委員会(12人)

議会運営を円滑にすすめるため、日程や議事の取り扱いなどを協議する委員会

◎委員長 ○副委員長 △理事

- ◎菅野 吉記
- 坊池 正
- △高瀬 勝也
- △外海 開三
- △味口 としゆき
- △よこはた 和幸
- △あわはら 富夫
- 林 まさひと
- 三木 しんじろう
- 上島 寛弘
- しらくに 高太郎
- 平井 真千子

監査委員(1人)

山口 由美

阪神水道企業団議会議員(8人)

- | | |
|----------|----------|
| 朝倉 えつ子 | 高瀬 勝也 |
| 住本 かずのり | 池田 りんたろう |
| 植中 雅子 | 村野 誠一 |
| しらくに 高太郎 | 北川 道夫 |

兵庫県・神戸市調整会議委員(2人)

- 沖久 正留 : 坊 やすなが

関西広域連合議会議員(2人)

- 守屋 隆司 : 大澤 和士